

産業水道常任委員会会議記録

日 時 令和2年2月10日(月曜日)

午前10時 0分 開議

場 所 水戸市議会 第4委員会室

午前10時29分 散会

付託事件

(1) 所管事務調査

1 本日の会議に付した事件

(1) 報告事項

① 企業誘致等の取組状況について (商工課)

② 第60回水戸黄門まつりの日程について (観光課)

(2) その他

2 出席委員(7名)

委員長	大津亮一君	副委員長	森正慶君
委員	田口文明君	委員	黒木勇君
委員	渡辺政明君	委員	栗原文隆君
委員	内藤丈男君		

3 欠席委員(なし)

4 委員外議員出席者(なし)

5 説明のため出席した者の職、氏名

副市長	田尻充君		
産業経済部長	小田木健治君	産業経済部参	川崎幹男君
産業経済部技監兼農政課長	深澤和広君	商工課長	小林一仁君
観光課長	堀江博之君	農業環境整備課長	小田博之君
農業技術センター所長	清水健司君	公設地方卸売市場長	武田和馬君
上下水道事業管理者	檜山隆雄君	上下水道局水道部長	伊藤俊夫君
水道総務課長	梶山哲君	経理課長	栗原千尋君
料金課長	倉田佳則君	水道整備課長	杉山健一君
給水課長	梶山学君	浄水管理事務所	島孝夫君

農業委員会 吉川正浩君
事務局次長

6 事務局職員出席者

法制調査係長 富岡 淳君 書記 矢吹友鏡君

午前10時 0分 開議

○**大津委員長** おはようございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから産業水道委員会を開会いたします。

議事に先立ちまして、横山農業委員会事務局長が病氣療養のため、欠席との連絡がございましたので、御報告いたします。

それでは、これより議事に入ります。

初めに、報告事項の説明を行います。

企業誘致等の取組状況について、執行部より説明願います。

小林商工課長。

○**小林商工課長** それでは、企業誘致等の取組状況について、商工課提出の資料により御説明を申し上げます。

1の企業誘致活動の取組状況につきましては、水戸市第6次総合計画魁のまちづくりNEXTプロジェクトにおける位置づけの下、今年度拡充をいたしました企業立地促進補助制度を活用しながら積極的な誘致活動を展開しているところでございます。

資料につきましては、平成26年度から昨年12月までの状況を取りまとめたものでございます。(1)の企業立地に係る相談受付件数につきましては累計で337件でありまして、そのうちの約3割強が市外からのものとなっております。

(2)の企業訪問件数につきましては、累計で1,913件でありまして、立地相談のありました企業等に対し直接足を運び企業要望の把握や土地情報の提供に努めるなど、きめ細かな対応を図っているところでございます。

次に、(3)の企業誘致の実績のうち、①の市外事業所の新增設につきましては、記載のとおり7件でございます。直近3か年の状況について申し上げますと、平成29年度に鋼材加工業者、アプリケーションソフト開発業者、平成30年度に運送業者の立地が決定し、いずれの事業者におきましても、新たに市民を雇用した上で既に事業を開始しているところでございます。

次に、②の市内事業所の新增設につきましては10件となっております。直近3か年の実績につきましては、裏面も御覧いただきまして平成29年度に建材卸売業者、運送業者、令和元年度に倉庫業者の倉庫新設をそれぞれ支援し、新たな雇用の創出や設備投資につなげることができたものでございます。

これらの企業誘致活動により約100億円の設備投資が行われるとともに、約350人の新たな雇用の創出という成果につながったものでございます。

今後も引き続き、茨城県や各金融機関をはじめ、協定を締結しております茨城県宅地建物取引業協会との連携を一層強化し、さらなる誘致につなげるべく積極的に取り組んでまいります。

また、併せまして市内企業の経営力、生産性向上に向けた支援につきましても、引き続き、産業活性化コーディネーターの活用も図りながら事業拡大等に係る様々なニーズに対する支援に努めてまいりたいと考えております。

次に、2の空き店舗等対策事業の実績についてでございます。

本事業につきましては、まちなか等におきまして、空き状態にある店舗を活用し、小売業、飲食業、サービス業などの事業を開始する際、改装に要した費用に対して支援を行うものでございます。また、平成28年9月からは中心市街地へ建物を賃借して店舗等の開設を行う際の事務所等の開設費用に対して支援します中心市街地店舗、事務所等開設促進補助制度を創設したところでございます。

直近3か年の実績について申し上げますと、平成29年度は9件の出店でございまして、飲食店7件、サービス業1件、学習支援業1件となっております。

平成30年度につきましては10件でございまして、飲食店5件、飲食・小売店1件、小売店1件、医療福祉業1件、オフィス2件となっております。

今年度につきましては、12月までに飲食店10件、飲食・小売店1件、小売店1件で、12件が新規出店したところでございます。平均しまして毎年度10件程度の新規出店につながっているところでございますが、引き続き、本事業の周知を図りながら中心市街地等への出店を促進し、空き店舗等の解消とともに活力あふれるまちのにぎわいの再生に努めてまいります。

説明につきましては以上でございます。

○大津委員長 内容について、何か御質問等がございましたら発言願います。

黒木委員。

○黒木委員 まず、お伺いしたいのが、この取組をやっています商工課の職員が何人かということと、あと産業活性化コーディネーターについて、何人いらっしゃるってどういう形態なのか、ちょっと分からないものですから、その2点の説明をお願いしたいと思います。

○大津委員長 小林商工課長。

○小林商工課長 ただいまの黒木委員からの企業誘致に取り組んでいる商工課の対応に関しての御質問でございますけれども、全体職員数につきましては、正規職員、嘱託員全て合わせて15名で事務を執行しておりまして、そのうち企業誘致にほぼ専属で取り組んでいる職員が1名でございます。

また、企業誘致コーディネーターということで、平成28年度から配置をしております職員が1名ということになっておりまして、このほか、市内事業所のフォローをメインに担当しております産業活性化コーディネーターが2名、外注によりまして配置という手だてをしております。よろしく申し上げます。

○大津委員長 黒木委員。

○黒木委員 企業誘致専属の職員の方1名、コーディネーターの方が平成28年から1名と非常に少ない人数で、これだけ企業を回られてという、担当課の現場の方いろいろ大変だったと思います。この人数で1人でやられて、これだけ回るといのは本当に大変なことかなというふうに、内情を見れば大変だと思います。これ行革になってしまうんですけども、企業誘致ということを考えるのであれば、副市長もいらっしゃるんですけど、やっぱり人的な厚さというのは必要だと思います。ここに力を入れるか入れないかということに関しては、担当する職員のマンパワーというのは、やっぱり必要だと思いますし、この辺というのは課長に言う話ではなくて、部長、副市長に言う話なのかなと思いますけども、この人数でやっていただいているという、この実績に関しては非常にすばらしいなと思われましたので、また、行革のほうで言わせていただきたいと思います。

○大津委員長 ほかにございませんか。

渡辺委員。

○渡辺委員 今、課長より報告、説明いただきありがとうございます。

この企業誘致というようなことで、今、黒木委員のほうからも市の職員並びに皆さん頑張っていたというように大変結構なことだと思います。これ72か月なんだよね。いわゆる平成26年からするとね。企業回りと、水戸市だけが回っているんじゃないんだけど、ほかの市町村も回っているというように中で、いかに水戸市の魅力を感じていただいて、水戸市に出ていただくかというようなところがポイントではないのかなというふうに感じております。

それで、一番大事な産業活性化コーディネーターさん、何回か前にも質問したんだけど、この方は、水戸市のほうから委託してんだっけ。ですから、民間のいわゆる特化した、そういう企業に勤めている人なの。

○大津委員長 小林商工課長。

○小林商工課長 ただいまの渡辺委員から産業活性化コーディネーターの雇用の件につきましては、ひたちなかテクノセンターのほうに委託をしております、基本的には、人選はひたちなかテクノセンターのほうにお願いをしておりますが、技術者でございます。今現在は、企業を退職された方ということでございますが、もともと各企業の技術チームで経歴を何十年もお持ちの方を選んでいただいているということでございます。

○大津委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 ごめんなさいね。立派な方なんだと思うんだけど、最近、例の茨城県のいわゆる藤原問題からね、何か私、信頼が薄くなってきちゃったのね。コーディネーターとかプランナーとか、そういう人たちがね。意外とそういう肩書だけで我々は信用してすぐ頼んでしまう。この方は違いますよ。ただそういうことが現実的にあったというようなことは、やっぱり、これは事実なんで、そういうものを踏まえながら例えば回る件数にしても、効率的にどう回っているのか。例えば、水戸市のほうの企業を担当の方とどういうコンタクトの下で、どういうターゲットを決めて回ったりしているのか。ただ単に回っていたのでは意味がないような気がしますので。水戸市として、例えば何か1つの企業のジャンルをいわゆるターゲットにしようとか、ひたちなかテクノセンターというのは、どういうところだかよく分かりませんが、そういう効率的な使い方をして、さらに水戸市のほうに進出してもらうような企業を増やしてきたというようなことが大切なのかなと思っております。

それともう一つね、空き店舗の対策なんだけど、出店したところはいろんな業種があるんだけど、閉店したりどっかへ行っちゃったという数はどれぐらいなのか。例えば令和元年の出店が12件なんだけど、辞めちゃったり出ていっちゃったのが20件とか。そうするとトータルでマイナスというようなことになるので、その辺の数字はどうなっているんですか。

○大津委員長 小林商工課長。

○小林商工課長 ただいまの渡辺委員からの空き店舗等の対策についての御質問でございますけれども、今回御報告差し上げております件数につきましては、平成26年度からのものということで御報告を申し上げましたが、現在までその26年度からの出店で4件の店舗が移転、もしくは閉店ということになっておりま

す。そのほかは、現在も営業を継続しているというところでございます。

○大津委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 空き店舗がこれだけ埋まってきたというようなことはありがたいですし、例えば、泉町とか南町とか宮町とかいろいろ出ていますけども、目で見ただけだと国道50号沿い等の商店とか飲食店とか事務所も含めて、何か空き店舗が多いなというのは実感としてあるものですから。やはり空いているところを埋めていくという作業を、これからも地道に続けていくということが大切なのかなと思っておりますので、ぜひ頑張ってください。意見として述べておきます。

○大津委員長 ほかにございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○大津委員長 ないようですので、次に、第60回水戸黄門まつりの日程について、執行部より説明願います。

堀江観光課長。

○堀江観光課長 それでは、第60回水戸黄門まつり日程について、観光課提出の資料により、御説明いたします。

本年開催する水戸黄門まつりの日程につきましては、先月1月28日に開催された実行委員会において決定し、周知を図っているところでございます。委員の皆様には実行委員会に御出席いただき、また、ファクスでもお知らせさせていただいているところでございますが、改めまして当委員会において御報告させていただきたいと存じます。

水戸黄門まつりの本祭の日程につきましては、例年8月第1週の土曜日、日曜日に開催しておりましたが、本年はオリンピックの開催期間と重なり、県内でもサッカー競技の実施が予定されております。そのため、観光祭りとしての集客と共に祭りの安全な運営に向けた警備体制の確保を図るために、例年の日程とずらした日程で本祭を開催するものでございます。

水戸偕楽園花火大会は、令和2年7月18日土曜日19時30分から21時まで、荒天の場合は翌日7月19日に順延となります。

水戸黄門まつりの本祭は、水戸駅北口から大工町交差点間を会場とし、1日目が令和2年8月22日土曜日、時間は10時から22時まで、交通規制は15時から22時までとなります。2日目が翌日8月23日日曜日、時間は10時から21時まで、交通規制は14時から21時までとなります。

説明は以上となりますが、御協議のほどよろしく願いいたします。

○大津委員長 内容について何か御質問等がございましたら発言を願います。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○大津委員長 ないようですので、次に、その他に入ります。

委員より何かございましたら発言を願います。

黒木委員。

○黒木委員 すみません。先ほどの報告事項のところとはちょっと違うのかなと思ひまして、その他で発言させていただきますが、水戸駅北口の旧マイムビル、飲食店関係が入るというような報道がなされて、業者

選定というのを報道で見たんですが、現在どのような状況なのか。水戸駅北口の玄関口で電車を降りてすぐの建物です。重要な場所ですので、その辺、状況をお聞かせいただければと思います。

○**大津委員長** 小林商工課長。

○**小林商工課長** ただいまの黒木委員からの水戸駅北口の再開発ビルマイムについての御質問でございますけれども、再開発ビルマイムにつきましては、昨年9月、キーテナントでありました丸井の撤退ということで、現在株式会社マリモが事業を引き継いで誘致に当たっております。

本会議でも御答弁申し上げましたとおり、現在誘致活動を進められているとかがっておりまして、約3割の契約が調い、残りにつきましては、今交渉を鋭意進めているというふうにかがっております。そういった中で、先月も新聞報道にございました、このビルの中に入居が決定しております（仮称）水戸フードホールというところで企業が入る予定でございますが、最大12店舗まで様々な料理を楽しめるようにするというので、厨房や調理器具、機材、それから営業スタッフなどを皆さんでシェアするというところで経費の節減が図られるということで、出店を促進しやすいということで注目されている業態でございます。

現在、株式会社アスラボということで東京都の会社でございますが、こちらと細かな調整を進めているというところがかがっております。

本市といたしましても、このフードホールという新しい業態に関しまして、各関係機関とも情報を共有しながら、私どもも市の補助制度等の活用も含めまして、様々な角度から支援などを行っていきたいというふうに考えております。よろしく申し上げます。

○**大津委員長** 黒木委員。

○**黒木委員** 全体でマイムビルの商業施設店舗等が開店し、市民の方が使えるようになる時期というのは明確ではない、それぞれが順次ということですか。

○**大津委員長** 小林商工課長。

○**小林商工課長** ただいまの黒木委員からのリニューアルオープンの日程等につきましてでございますけれども、一斉のスタートというところではなくて、順次オープンさせていくということで私どもももうかがっております。

〔「いつからなのか」と呼ぶ者あり〕

○**大津委員長** 小林商工課長。

○**小林商工課長** 説明が不足していて申し訳ございません。フードホールにつきましては、7月を予定しているというところがかがっております。

○**大津委員長** 黒木委員。

○**黒木委員** フードホールは今年7月から、また、誘致活動で3割が決まっていると今説明ありましたが、この3割の企業なんですけどね、オフィスになるのか、こういうのは、まだ全然日程決まんない、いつになるか分かんないような状況なんです。改修工事は終わったように外からは見えるんですけど。

○**大津委員長** 小林商工課長。

○**小林商工課長** 黒木委員の御質問にお答えいたします。

契約済みとなっている事業所様のオープンの正式な日程のほうは、申し訳ございません、私どものほうで

今現在ちょっと把握していない状況でございますので、株式会社マリモを通じて詳細に情報を入手していきたいと考えております。

○**大津委員長** 黒木委員。

○**黒木委員** 本当に水戸市の玄関、駅を降りてすぐの玄関口エリアがつながっている中での重要な施設でありますので、しっかりとマリモさんと連携を取りながら遅滞なく業務が推進できるように努めていただきたいということでお願いいたします。

○**大津委員長** ほかにございますか。

渡辺委員。

○**渡辺委員** 大したことじゃないんですけど、梅まつりが8日から始まりましたよね。それで、今回は、300円ですか、偕楽園は料金を取るというようなことで、弘道館のほうは400円という状況ですね。初日にですね、そういう入場券を払う払わないとか、そういうもので何か問題とか発生したり、また入り口辺りで混乱があったとか、そういうことはなかったのかどうか。ちょっとお聞かせください。

○**大津委員長** 堀江観光課長。

○**堀江観光課長** ただいまの渡辺委員の御質問にお答えいたします。

第124回の水戸の梅まつりにつきましては、2月15日から開催いたしますが、先ほど委員から御指摘がございましたオペレーションにつきましては、県と協議をしております、スムーズな運用を図るということで特に一般観光客が多い東門につきましては、東門を入り口専用としまして、その脇に出口を設ける。あるいは料金所の周辺、団体客等については千波湖西側駐車場であったり、偕楽園臨時駅付近に臨時の券売所を設けて、できるだけスムーズに、観光客がストレスなく入園できるようにいろいろ対策を講じているところでございます。

○**大津委員長** 渡辺委員。

○**渡辺委員** 今、課長の指摘したとおり、入り口が1か所と、東口ですよ。ですから、常磐口に上がるあの石段、あれが通路になるような気がするんですよ。お年寄りもいらっしゃいますし、また、ちっちゃな子の手を引いた方もいらっしゃるということで、そういう中で混乱とか事故がないようにお願いしたいなというようなことを意見として述べておきます。

それと、入場料を取るわけですよ、今度。そのお金というのは県が全部管理するんですか。それとも、水戸市と両方でいわゆる収入金額を管理運営するのか。その辺のところはどうなんですか。

○**大津委員長** 堀江観光課長。

○**堀江観光課長** ただいまの渡辺委員の御質問にお答えいたします。

偕楽園が有料化になりまして弘道館のほうも入館料が値上げすることになりますが、財源につきましては、県のほうが管理しまして、県においては、新たな魅力向上策を今いろいろ検討しているところでございます。それにつきましては、市のほうもしっかりと偕楽園周辺あるいは弘道館周辺について、様々な意見を県のほうに述べていくつもりでございます。

○**大津委員長** 渡辺委員。

○**渡辺委員** 私ね、常々考えているんですけども、水戸市にとっても県にとっても大事なところは一緒とい

うようなところで、そこに区別、差別はないんですよ。例えば、偕楽園も公園にしても弘道館にしても、県はその敷地内だけの話で金はうちが使うということなんです。やっぱりお金の使い方、例えば魅力向上というのは中だけの問題じゃなくて、その隣接するエリア全体の魅力を高めていくということが必要不可欠だと私は思っているんですね。どうしても今までの県の考え方は、この敷地内に入ったんだから、その金は全部俺のところで使うんだというような考え方に陥りやすい、また、そうなりやすい。ですから、やっぱり水戸市にとっても大事なところで、今偕楽園の周辺整備もしておりますよね。県のほうは県のほうでやっておりますよね。魅力向上策と振興策を2,000万円で頼んだでしょう。ああいうものが、例えばこの魅力向上の予算がそういうものに何か使われると、水戸市のほうに相談もなく使われるというようなことがあったんでは困るということを私は指摘したいんですよ。やはり、水戸市にとっても大事な最重要地点であるので、やっぱり県はお金を取る以上、水戸市のほうに相談しながら、その生かし方、使い方、そういうものをしっかり意見として、水戸市は県庁所在地なんですから、また同じ場所なんですから、しっかり伝えていただきたい、また、それに関わりを持ってもらいたいというようなことを申し述べておきます。

以上です。

○大津委員長 ほかにございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○大津委員長 それでは、以上をもちまして本日の産業水道委員会を散会いたします。

御苦労さまでした。

午前10時29分 散会